

おびひろ動物園 五十年誌

Obihiro Zoo
50th Anniversary





目次

開園50周年を迎えて	帯広市長 米沢 則寿	1
歴代園長挨拶	初代園長 高橋 久道	2
	第8代園長 大西 正典	2
	第9代園長 藤川 研	2
基本理念		3
動物園五十年の歩み		4
動物園の役割		39
おびひろ動物園マップ		43
入園者数・入園料の推移		45
感謝を込めて		47
編集後記		48

開園50周年を迎えて



帯広市長 米沢 則 寿

おびひろ動物園が、開園50周年を迎えたことを、市民の皆様とともに喜び、また多くの方々に支えられてきたことに、深く感謝申し上げます。当園は、昭和38年7月、子どもたちに明るい夢と希望を持ってもらい、豊かな情操を育むとともに市民の憩いの場にするという大きな目標をもって、札幌市円山動物園に次ぐ道内2番目、道東地方では最初の動物園として誕生しました。

この間、市民の皆様をはじめ多くの方々に広く愛され、親しまれる中で心温まるご支援をいただいてまいりました。創設当時は、動物や大型遊具を寄贈していただき、動物園の整備がすすみました。そして毎年4月の開園前に行われている園内清掃や塗装奉仕活動は、長年にわたり幅広い年齢層のボランティアの方々によって継続されています。動物園の誕生から現在まで物心両面にわたる多大なご協力に感謝し、厚くお礼を申し上げます。

50年間の歴史の中には、アイスクリームを作るチンパンジーとして人気者だった「ターボ」、ホッキョクグマの長寿日本一となった「メリー」など多くの動物がいました。そして開園の翌年から動物園と共に歩んできた道内で唯一となったインドゾウの「ナナ」は、高齢になりましたが現在も元気に活躍しています。

おびひろ動物園は、家族や友人との憩いの場として、さらには動物との触れ合いや観察を通して、動物に関する知識と温かい思いやりの心や優しさを身に付ける教育の場としての役割を担ってきました。

自然環境の保全が大きな課題となった今日、「種の保存」「教育」など動物園の役割が、ますます重要になっています。動物園が、野生動物を飼育展示する目的と意義は、野生動物の生態や行動を身近に学んでもらい、目の前にいる野生動物が暮らすことのできる地球環境の豊かさを知り、命の大切さを再認識してもらうこと、そして人と野生動物が共存できる世界の大切さを理解してもらうことです。

おびひろ動物園は、平成13年度に教育委員会所管施設となり、平成15年2月には、博物館相当施設として承認され、教育機関と位置づけられました。帯広市図書館や帯広百年記念館、帯広市児童会館などの社会教育施設や帯広畜産大学などと連携して「楽しみながら学べる、学びながら楽しめる」施設として充実をめざしています。

今後も多くの市民の皆様との憩いの場として愛される動物園づくりに一層の努力を続けて参りますので、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

歴代園長 挨拶

随想・縄文のフードバレー



初代園長 高橋 久道
(昭和38年10月〜昭和45年3月)

豊かな食材、最古の食品加工技術。既にフードバレーの素地がこの地にはあった。帯広南部、大正の1万4千年前の遺跡の土鍋で、縄文人は世界最古の魚の煮炊きをやっていたという。そこに程近い、幕別町の忠類にはナウマンゾウの出土地がある。繁茂した好物のヨシに夢中のみり、深い泥沼にはまり込んだのだろうか。となると、狩猟を生業にしていた縄文人は、時にはゾウ肉の煮炊きをしていたのかもしれない。

40数年前、子供のインドゾウ「ナナ」は発掘直後の現地を慰霊に訪れている。十勝の牧草を存分に食べて育ったその「ナナ」が、今や北海道唯一のゾウとして「おびひろ動物園」と共に50歳の節目を迎えた。

おびひろ動物園の思い出



第8代 赤帽園長 大西 正典
(平成18年7月〜平成21年3月)

世はまさに旭山動物園の絶頂期に第8

代動物園長に就任いたしました。就任直後、「旭山動物園物語」ペンギンが空を飛ぶ」の映画撮影のロケ地として依頼されました。しかもそのことが「寂れていた時代の旭山動物園を再現するロケ地」と地元誌に報道され、ロケ地の申し出を受け入れたことに市民のお叱りを受ける、屈辱のスタートとなりました。

北海道内で2番目に古く、最も小さな面積の動物園をどのように賑やかに再生するかが大きな課題でした。小さいが故に、入園者と動物の距離が一番近い動物園としてPRすべく、「園長」と刺繍した「赤帽」をかぶり、観光施設では無い、教育施設としてのおびひろ動物園のあり方を模索しました。

円山動物園から来た北極熊。ピリカは大人気で、鳥取県、愛知県等の遠方から何度も来園される「ピリカファミリー」との交流は退職後も続いています。

私にとって、退職の年に冬季開園を実現したこと、動物園協会から動物園センタリーの寄贈を受ける話し合いを進めたこと、の思い出が、現在動物園ボランティアガイドとして活動する原動力となっています。

動物園勤務を顧みて



第9代園長 藤川 研
(平成21年4月〜平成23年3月)

前園長からバトンタッチされた当初は、正直言って、不安がいっぱいでした。休日ごとの悪天候、大型高齢動物の死亡、さらには、ヨ―ネ病疑似患者の発覚・殺処分など、園にとっては絶望的な逆風状態が続きました。

そんな状況下にもかかわらず、園長初年度は20年ぶりの入園者15万人を達成、翌年には17万人台にまでのせることができました。結果的に非常にラッキーな園長だったようです。

それもこれも、常に多くの市民の皆さんの、実にさまざまな支えがあったから、それと、動物園職員(歴代を含む)一人ひとりの創意・工夫・熱意と頑張りがあったからにはかならないと思っています。

この2つがある限り、おびひろ動物園の未来は明るいものと確信し、期待もしています。

動物園五十年の歩み

昭和42年	昭和41年	昭和40年	昭和39年	昭和38年	昭和37年	昭和35年
2月	4月 7・3	1月 8月 5・30	11月 8月 6月 5月 8・9	1月 7・13	6月 10月	4月
アイヌ民族の儀式「イオマンテ」の記録保存のため、ヒグマ一頭を提供	- 全日本学生氷上選手権大会でチンパンジーの「ターボ」がアイススケートを披露 - 第3回日報動物写真大会 - エゾナキウサギ試験飼育開始	- 全日本学生氷上選手権大会でチンパンジーの「ターボ」がアイススケートを披露 - 第2回日報動物写真大会 - サマースクール開催44年	- 本格的な動物の耐寒訓練開始 - 第1回十勝地区動物画写生コンクール - 第1回動物を計る会開催 - 主な動物の名称を一般公募 - 耐寒訓練の始まり - 屋外に出し、日光浴させる。耐寒訓練の始まり - ライオンの仔が日照不足によるクル病を発症	- 飼育動物、購入動物を移動 - 帯広市動物園開園 - 開園時の規模48000㎡ - メリーゴーランド、豆汽車運転開始	- 小動物飼育開始 - 帯広市動物園建設着工	帯広市動物園建設期成会発足

基本理念

おびひろ動物園は、
楽しみながら
環境を守り、育む大切さを学び、
人間と動物の「命」を感じ、
「命」について考え、
「命」をつなぐ場所を提供します。



開園前の整地作業



開園当初の飼育スタッフ



昭和39年4月
インドゾウのナナ来園
獣舎建設間に合わせ
仮設獣舎で半年過ごす



開園当日
待ちきれない子どもたち



木造の「しかのはし」
現在のカンガルー舎前



チンパンジーのターボが
アイススケートを披露

昭和50年	昭和49年	昭和48年	昭和47年
4月 6月 7月 7月 9月 9月・15	1月 3月 12月	4月 7月 8月 9月・15 12月	9月 7月・1 10月 10月・8 12月
- ウインタースクール開催 - グラントシマウマ誕生 - ローランドゴリラの1歳を預託飼育 3代目豆汽車「弁慶号」運行 - エゾリス12頭誕生 - チンパンジー♀6ヶ月来園 - 第12回日報動物写真大会 - カバ誕生 - 第3回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」	- アミメキリンの調教開始 2代目メリーゴーランド運行 - 第11回日報動物写真大会 - 親子サマーカーンプ開催 - 第2回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 - ホッキョクグマ誕生(約60日間生存) - アミメキリン誕生	- 第10回日報動物写真大会 - 開園10周年記念行事開催 - 姉妹都市アラスカ州スワード市よりヘラジカ3頭受贈 - シベリアオオカミの人工哺育 - ホッキョクグマの人工冬ごもり - アカツクシガモ繁殖賞受賞 - ホッキョクグマの人工冬ごもり	- アミメキリンの削蹄を初実施 - 姉妹都市アラスカ州スワード市長夫妻来園 - 帯広競翔連合会と共催で300kmの鳩レース大会開催 - 第1回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 - アカツクシガモ繁殖賞受賞 - ホッキョクグマの人工冬ごもり

昭和47年	昭和46年	昭和45年	昭和44年	昭和43年	昭和42年
7月 7月・2	4月 7月・4 9月 12月	4月 6月 8月 9月 10月	4月 7月 5月 7月 7月・7 12月	4月	7月 12月・2
- ブタオザル脱走、3時間後捕獲 - 第9回日報動物写真大会	- 敷地拡張71500㎡ - 第8回日報動物写真大会 - インドゾウ「ナナ」が30人の子供たちと綱引き - エゾナキウサギの長期飼育(18ヶ月)成功	- チェアタワー運転開始 - トラの爪切り - サファリキャンプ開催 - 野外ステージ落成 - ナウマンゾウが発掘された幕別町忠類の秋祭りにインドゾウ「ナナ」が参加 - 第7回日報動物写真大会	- 敷地拡張53000㎡ - イギリス「オルニー」熱帯鳥類動物園のエジプトガンとシマフクロウを交換 - 第6回日報動物写真大会 - トラの人工哺育成功	- 豆汽車自動踏切装置設置 - 帯広塗装工業組合による塗装奉仕(以降毎年実施) - フンボルトペンギン孵化 - エゾライチョウ試験飼育開始 - 開園5周年記念行事 - 第5回日報動物写真大会 - エゾヒグマの人工冬ごもり試験 - エスキモー犬による犬ぞり開始	- 第4回日報動物写真大会 - ライオン園内脱走、同日捕獲收容

生後6ヶ月で来園したチンパンジーのファイ



ゴリラを背負っての体重測定



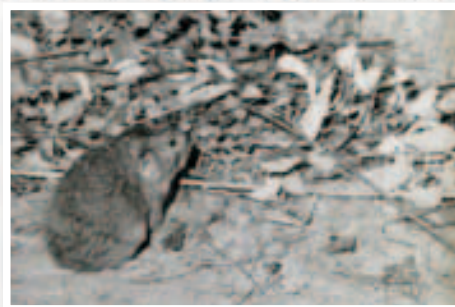
昭和48年8月 来園者数200万人 記念にクジャクの羽をプレゼント



生後半年で来園したアジアゾウのノンは子どもたちともふれあっていた



エゾナキウサギの飼育に挑戦



趣向を凝らしたサファリキャンプ



インドゾウのナナと綱引き



昭和46年 キリン到着



初代空中観覧車



昭和54年										昭和53年
10・10	9・26	9・15	12	7・1	6・17	4・28	4月	1・19	10・25	3月
・開園15周年記念に静岡市日本平動物園よりアメリカバイソンが来園、シエッタランドポニーを同園へ搬出 ・カナダより来園したアメリカカビーバーの1頭を釧路市動物園の♀と交換 ・開園（11・5まで） ・トビの人工孵化成功 ・第3回動物画写生コンクール ・開園15周年記念行事開催 ・第4回動物画写生コンクール ・第6回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ・エゾナキウサギ3頭捕獲、飼育開始 ・ライオンの人工哺育開始 ・グリーンランドを縦断したエスキモー犬「クマ」を植村直己氏より受贈 ・おびひろ氷まつりで犬ぞりレース開催 ・帯広明るい社会づくり運動協議会主催による清掃奉仕（毎年開催） ・開園（11・4） ・ジャングルマウス運転開始 ・動物を計る会開催 ・第7回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ・第5回動物画写生コンクール ・神戸市立王子動物園よりアムールトラが来園 ・ニホンザル人工哺育開始 ・第6回動物画写生コンクール ・カナダ「エドモント市立バレー動物園」よりシンリンオオカミのペア来園 ・「世界一どうもうな動物（人間）」のオリ設置										・開園15周年記念に静岡市日本平動物園よりアメリカバイソンが来園、シエッタランドポニーを同園へ搬出 ・カナダより来園したアメリカカビーバーの1頭を釧路市動物園の♀と交換 ・開園（11・5まで） ・トビの人工孵化成功 ・第3回動物画写生コンクール ・開園15周年記念行事開催 ・第4回動物画写生コンクール ・第6回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ・エゾナキウサギ3頭捕獲、飼育開始 ・ライオンの人工哺育開始 ・グリーンランドを縦断したエスキモー犬「クマ」を植村直己氏より受贈 ・おびひろ氷まつりで犬ぞりレース開催 ・帯広明るい社会づくり運動協議会主催による清掃奉仕（毎年開催） ・開園（11・4） ・ジャングルマウス運転開始 ・動物を計る会開催 ・第7回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ・第5回動物画写生コンクール ・神戸市立王子動物園よりアムールトラが来園 ・ニホンザル人工哺育開始 ・第6回動物画写生コンクール ・カナダ「エドモント市立バレー動物園」よりシンリンオオカミのペア来園 ・「世界一どうもうな動物（人間）」のオリ設置

昭和52年										昭和51年
2月	1月	11月	10月	9・15	9月	8月	7・17	7月	6月	4月
・おびひろ氷まつりでの犬ぞりデモンストレーションのため植村直己氏来園 ・エランドを預託飼育 ・カナダ、アルバータ州エドモント市長が来園、アメリカカビーバー2頭寄贈の申入れを受ける ・リスザル15頭が集団脱走し、1週間後長雨のため全員投降 ・カバの仔♂「ノロ」宇都宮動物園へ搬出 ・第2回動物画写生コンクール ・ニホンザルの人工哺育開始 ・カナダよりアメリカカビーバー2頭来園 ・第5回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ・ローランドゴリラを旭山動物園へ搬出 ・動物園3号橋「しかのはし」完成 ・第1回犬ぞりレース開催 ・おびひろ動物園協会発足										・大空中観覧車運転開始 ・探検家植村直己氏より北極圏12000kmを走破したエスキモー犬2頭を受贈 ・第13回日報動物写真大会 ・第4回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ・クロヅル脱走、数時間後捕獲 ・第1回動物画写生コンクール ・動物園1号橋「イソップ橋」完成 ・ホッキョクグマ双子誕生（6日間生存）



使用していない獣舎を利用した「人間のオリ」



開園15周年記念での動物ショー



静岡市日本平動物園より、アメリカバイソンが来園



ジャングルマウスを新設運転開始



植村直己氏より2頭のエスキモー犬が贈られた



リスザルが集団脱走園内を捜索中



札幌市円山動物園よりエランドを預かる



ニホンザルの人工哺育事務所で授乳することが多い



おびひろ動物園協会発足

昭和59年														昭和58年																				
29	25	19	4 ・ 3	3 ・ 10	1 ・ 12	12 ・ 15	25	24	11 ・ 21	10 ・ 16	9 ・ 22	8 ・ 12	7 ・ 13	26	21	16	6 ・ 13	5 ・ 9																
●2代目大空中観覧車運転開始	●開園(5・11・4)	●物園より来園	●完成	●エスキモー犬「イグルー」の剥製のためオオサンショウウオ17点来園	●広島県安佐動物園より共同繁殖のためオオサンショウウオ17点来園	●エゾヒグマの冬ごもり実験4年ぶりに再開	●旭川市旭山動物園へフタコブラクダを搬出	●札幌市円山動物園よりフタコブラクダ♀が来園	●寄贈	●開拓姉妹都市松崎町へエゾシカを寄贈	●エランド誕生	●白色のフタコブラクダ「フクちゃん」死亡	●推定21歳で死亡	●ベンガルトラ「ヒロコ」老衰により推定21歳で死亡	●第10回動物画写生コンクール	●開園20周年記念式典	●仔急死	●動物を計る会。アミメキリン4.1m、インドゾウ♀「ナナ」の鼻1.8m、ニホンイノシシの体重48kg	●仙台市動物園より寄贈されたグラントシマウマが到着後間もなく疲労により死亡	●人工哺育中のアメリカカビーバーの仔急死	●第10回動物画写生コンクール	●開園20周年記念式典	●ベンガルトラ「ヒロコ」老衰により推定21歳で死亡	●白色のフタコブラクダ「フクちゃん」死亡	●エランド誕生	●開拓姉妹都市松崎町へエゾシカを寄贈	●札幌市円山動物園よりフタコブラクダ♀が来園	●旭川市旭山動物園へフタコブラクダを搬出	●エゾヒグマの冬ごもり実験4年ぶりに再開	●完成	●エスキモー犬「イグルー」の剥製のためオオサンショウウオ17点来園	●広島県安佐動物園より共同繁殖のためオオサンショウウオ17点来園	●物園より来園	●2代目大空中観覧車運転開始

昭和58年														昭和57年		
30	29	4・6	29	28	17	3・9	2・22		9	5	25	7・11	6・5	5・14	30	4・29
●シンリンオオカミ誕生	●植村直己氏が南極旅行の報告に、南極で誕生したエスキモー犬2頭とともに来園	●開園（5・11・3）	●片手、尾なしのクロヒョウ「クロちゃん」17歳で死亡。国内長寿記録まであと少しだった	●開拓姉妹都市松崎町よりニホンイノシシ一頭を受贈	●共同繁殖のため名古屋市東山動物園へアメリカビバーの♀を搬出	●ホッキョクグマを新獣舎に移動	●徳島市動物園へシンリンオオカミのペアを寄贈	●旭川市旭山動物園へシンリンオオカミのペアを寄贈	●産業文化姉妹都市締結を記念し、徳島市にエゾヒグマを寄贈	●フタコブラクダ誕生（白色）	●日本動物愛護協会よりベンガルトラの「ヒロコ」が功労動物の表彰を受ける。（長寿・長期飼育）	●第9回動物画写生コンクール	●エゾシカ2頭を開拓姉妹都市松崎町に寄贈	●動物を計る会	●第10回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」	●グレートポセイドン、コスモジェット運転開始

アルビノのフタコブラクダ
フクちゃん



動物園のシンボル
大空中観覧車が運転開始



ベンガルトラのヒロコは、
当時長寿日本一



昭和57年6月5日
ふれあいを目的に
こども動物園がオープン



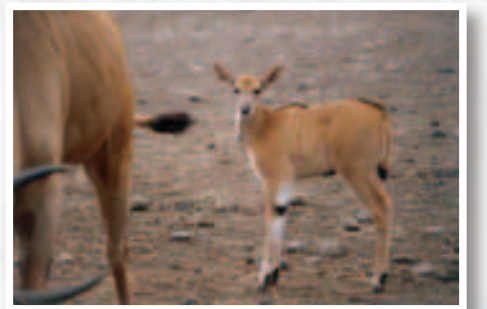
姉妹都市の松崎町から
イノシシが来園



白色のラクダ人工哺育



エランドが誕生



グレートポセイドンが
新設され遊具が大型化



植村直己氏と南極生まれの
2頭のエスキモー犬来園



昭和63年					昭和62年					昭和61年				
8	6	4	9	7	6	5	4	8	7	6				
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
13	2	26	12	11	24	20	19	31	29	20	19	17	1	30
29	21													
● アンデスコンドル孵化 ● チャップマンシマウマ誕生 ● カリフォルニアアシカ誕生 ● フタコブラクダ♂が秋田市大森山動物園より来園 ● サファリキャンプ ● 親と子の写真会と紙ねんどで動物をつくる集い ● モモイロペリカンのペア来園 ● 第13回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ● エスキモー犬「アンナ」の剥製完成。氷雪の家で展示開始 ● マゼランペンギン4羽来園、交換でアミメキリン一頭を搬出 ● アメリカバイソン一頭を釧路市動物園に寄贈 ● 開園（〜11・3） ● シベリアヘラジカ誕生 ● 探鳥ピクニック開催 ● 第14回動物画写生コンクール ● ニホンザルの人工哺育開始 ● 第14回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」														
● チャップマンシマウマ誕生 ● コモンマーモセットのペア来園 ● 開園（〜11・3） ● シベリアヘラジカ誕生 ● 動物を計る会。キリン460cm、モモイロペリカン開口長46cm、ニホンザル2歳♂体重2kg ● 第15回動物画写生コンクール ● アメリカバイソン♂「ボブ」死亡 ● 植村直己氏犬ぞりチームリーダーのエスキモー犬「クマ」死亡														

昭和61年					昭和60年					昭和59年				
6	4	3	12	8	7	6	5	4	1	12	9	7	6	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
24	22	15	27	5	16	25	21	5	23	22	17	16	1	27
5														
● チンパンジー♀「チャーミー」死亡 ● 開園（〜11・3） ● 動物を計る会 ● 第13回動物画写生コンクール ● アメリカバイソン誕生 ● サファリキャンプ ● 第12回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ● アミメキリン誕生 ● 映画「植村直己物語」撮影 ● 動物を計る会。キリン♂「ノブイチ」4・55m、オナガギジの尾の長さ107cm、オオカミの仔の体重48kg ● 文化産業姉妹都市の徳島市動物園へアカカンガル―のペアを寄贈 ● シベリアヘラジカの引き渡し式 ● 第12回動物画写生コンクール ● アメリカバイソン誕生 ● 第12回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ● アミメキリン誕生														
● 「氷雪の家」開館式 ● チャップマンシマウマのペア来園 ● グラントシマウマ搬出 ● 開園（〜11・4） ● ノスリ孵化（日本動物園水族館協会より繁殖賞受賞） ● シベリアヘラジカのペアが中国黒竜江省より来園 ● 映画「植村直己物語」撮影 ● 動物を計る会。キリン♂「ノブイチ」4・55m、オナガギジの尾の長さ107cm、オオカミの仔の体重48kg ● 文化産業姉妹都市の徳島市動物園へアカカンガル―のペアを寄贈 ● シベリアヘラジカの引き渡し式 ● 第12回動物画写生コンクール ● アメリカバイソン誕生 ● サファリキャンプ ● 第12回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ● アミメキリン誕生														
● 動物を計る会。アミメキリン425cm、ヤギの仔の体重12・5kg、インドクジャクの尾羽の長さ1.5m ● カリフォルニアアシカ誕生 ● 第11回動物画写生コンクール ● 第11回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」 ● 親子サマーキャンプ開催 ● 植村直己記念館「氷雪の家」着工 ● 「氷雪の家」完成														



バスに乗って遠方で探鳥会



チャップマンシマウマが誕生



シベリアヘラジカ誕生



動物を計る会
ペリカンの大きな口を計測



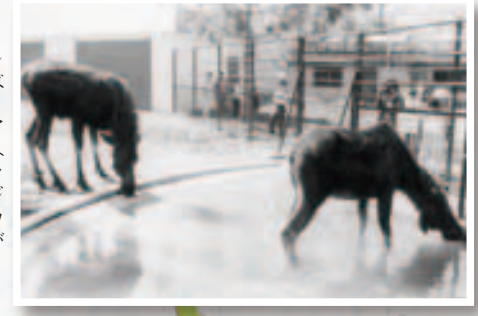
この頃、アミメキリンは
5頭の大家族



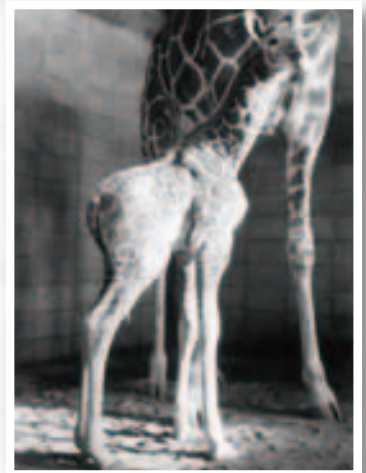
サファリキャンプで
火おこしに挑戦



植村スピリットを伝える
「氷雪の家」が開館



シベリアヘラジカが
中国黒竜江省より来園



アミメキリンが誕生



動物を計る会で
仔ヤギの体重測定

平成3年	平成4年	平成5年	平成6年					
6 ・ 19	8 ・ 10	9 ・ 12	10 ・ 31	3 ・ 30	4 ・ 26	5 ・ 29	6 ・ 3	7 ・ 10
●シベリアヘラジカ誕生	●第18回動物画写生コンクール	●よるの動物園(〜12)	●第18回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」	●ライオン誕生	●ライオンの赤ちゃんとおそぼう会	●ゴマファザラシ誕生	●開園(〜11・3)	●シベリアヘラジカ誕生
●第19回動物画写生コンクール	●よるの動物園(〜12)	●第19回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」	●ホッキョクグマのペアを購入しアメリカ「メトロパーク動物園」より来園(♂「スバル」♀「サツキ」)	●アミメキリン誕生	●開園(〜11・3)	●第20回動物画写生コンクール	●よるの動物園(〜12)	●ゴマファザラシ誕生
●カリフォルニアアシカ♀来園	●開園(〜11・3)	●「30年のあゆみ」発行	●ゴマファザラシの仔死亡	●探鳥ピクニック	●シベリアヘラジカ♂「ケリー」死亡	●チャップマンシマウマ♀2頭を名古屋市東山動物園へ搬出	●第21回動物画写生コンクール	●よるの動物園(〜7)
●「夏休み動物工作教室」(〜15)	●ライオン♂「キング」釧路市動物園へ搬出							

昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年					
9 ・ 11	10 ・ 4	11 ・ 9	2 ・ 20	3 ・ 29	4 ・ 29	6 ・ 18	7 ・ 2	8 ・ 27
●第15回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」	●コモンマーマセツト誕生、実父が子育てせず代理父が育てる	●共同繁殖のため、川崎市夢見ヶ崎動物園よりシベリアヘラジカ♂2歳が来園	●シロフクロウ♀「シロちゃん」宝塚ファミリーランドより来園	●共同繁殖のため、シベリアヘラジカ♂一頭を秋田市大森山動物園へ搬出	●開園(〜11・5)	●スーパージェアー運転開始	●動物を計る会。オオサンショウウオの体長115cmで世界第2位	●ヤクシマヤギ2頭を徳島市立動物園より受贈
●第16回動物画写生コンクール	●よるの動物園初開催	●第16回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」	●豆汽車踏切装置設置の鈴木強氏が科学技術庁長官より「創意工夫功労者表彰」を受賞	●開園(〜11・4)	●動物を計る会。キリン♂の高さ555cm、エスキモー犬の子犬の体重9.5kg、メガネカイマンの体長116cm	●シベリアヘラジカ双子誕生	●第17回動物画写生コンクール	●第17回「動物園で詩をかこう絵をかこうの集い」
●ライオン♀来園	●開園(〜11・4)							



ゴマファザラシ
カイの誕生



ライオンの赤ちゃん
とおそぼう会を実施



チャップマンシマウマの誕生
が続き、東山動物園に移動



平成元年より続く
よるの動物園



メトロパーク動物園から
サツキとスバルが来園



サマースクールの一幕
ゾウを観察しながら問題を解く



ゴールデンウィークに多く
の入園者に見守られながら
ボス誕生



シベリアヘラジカの
双子が誕生



平成3年1月
一晩で92cmの大雪。
前に進むのも大変



キリンの伸びすぎた蹄を
ノコギリで治療

平成10年	平成9年												平成8年																	
1・13	11・12	10・19	9・27	8・25	8・15	7・11	6・22	6・31	5・30	5・27	5・18	5・14	5・11	4・26	4・24	3・12	3・26	10・20	9・23	8・9	7・9									
●ニホンザルのエキノコックス症検査	●札幌市田山動物園よりアメリカワシミミズクのペアを受贈	●探鳥ピクニック	●エキノコックス症でニホンザル死亡	●探鳥ピクニック	●札幌市田山動物園よりアメリカワシミミズクのペアを受贈	●「トラツクの日」を記念し、十勝地区トラツク協会より入場券を2千人にプレゼント	●オオサンショウウオ身体測定	●アメリカバイソン♀誕生	●よるの動物園(〜10)	●アミメキリン♂「キリマル」初屋外宮動物園へ搬出	●アミメキリン♀「チェリー」を宇都宮動物園へ搬出	●大森山動物園より来園	●ニホンザル誕生、人工哺育開始	●第24回動物画写生コンクール	●モモイロペリカン♀死亡	●ニホンザル真菌症治療開始	●エゾモモンガ誕生確認	●探鳥ピクニック	●エゾフクロウヒナ行方不明	●エゾフクロウ孵化	●開園(〜11・3)	●10羽オホーツク水族館へ搬出	●エゾフクロウ2羽、クジャクバト	●アカカンガル―仔骨折整復手術	●ニホンザル皮膚病蔓延	●川崎市夢見ヶ崎動物園よりボリビアリスザル一頭搬入	●よるの動物園(〜11)	●工作教室(〜11)	●札幌市田山動物園よりオシドリ3ペア来園	●探鳥ピクニック

平成8年																平成7年				平成6年																																										
23		17	6 ・ 5	5 ・ 19	27	22	4 ・ 19	3 ・ 13	2 ・ 8	3	11 ・ 2	31	10 ・ 8	19	14	9 ・ 6	11	8 ・ 5	6 ・ 25	30	29	28	5 ・ 2	29	4 ・ 13	19	10 ・ 9																																			
●第23回動物画写生コンクール		●マンドリル♀死亡	●市夢見ヶ崎動物園へ搬出			●探鳥ピクニック			●シベリアヘラジカ♀「ポロ」を川崎市夢見ヶ崎動物園へ搬出			●足寄町教育委員会へゾウの骨を預託			●アミメキリン♂「ノブイチ」死亡			●開園（5・11・4）			●探鳥ピクニック			●シベリアヘラジカ誕生			●シベリアヘラジカの仔死亡			●第22回動物画写生コンクール			●夜の動物園（5・7）			●工作教室（5・13）			●アカカンガルーの育児囊で3頭の仔が育成しているのを確認			●アメリカバイソン♂死亡			●ホタル交流会（5・10）			●ホッキョクグマ「メリー」29歳9カ月で国内最高齢			●オオサンショウウオの身体測定			●アカカンガルー人工哺育開始			●探鳥ピクニック			●アミメキリン誕生		



アカカンガル―骨折整復手術



ニホンザルが皮膚病により脱毛蔓延



オオサンショウウオの身体測定



まだ目もあいていないアカカンガル―人工哺育



おやこ動物園教室ではキリンの問診で動物解説



夏休みの自由研究にぴったり工作教室を開催



メリーの日本一を祝しての看板



アジアゾウを2頭飼育していた日



サタデークラブでニホンザルの好物調査



アメリカワシミミズクが来園



ホッキョクグマのメリー国内最高齢を祝う



あべ弘士原画展

平成13年													平成12年
24	13	3	6 2	5 19	29	19	4 1	29	24	3 11	11 2	5	2 4
●第27回動物画写生コンクール	●ホッキョクグマ舎にカラーボールを投げ入れられ、蛍光オレンジグマになる	●アメリカバイソン誕生、翌日より人工哺育開始	●飼料用冷凍庫完成	●トビのヒナ死亡	●開園（11・4）	●ホームページ開設	●建設部から教育委員会へ所管換え。国内で初めて、動物園が単独で教育委員会所管となる	●鳥類舎完成	●来園以来スケートなどの芸で来園者を楽しませたチンパンジーの「ターボ」39歳で死亡	●盛岡市動物公園からピグミーヤギ♀とインドクジャク♀が来園	●来園以来スケートなどの芸で来園者を楽しませたチンパンジーの「ターボ」39歳で死亡	●新D型倉庫完成	●鉛中毒のトビ4羽を釧路野生動物保護センターへ搬出
													●開園（11・5）
													●キリン北側東屋完成
													●カリフォルニアアシカの仔、父「タケル」に噛まれる
													●第26回動物画写生コンクール
													●エゾリスのペアを釧路市動物園へ搬出
													●よるの動物園（5・6）
													●キタキツネの黒色個体死亡
													●釧路市動物園よりトナカイ2頭が来園
													●エゾシカの、エゾタヌキを札幌市円山動物園へ搬出
													●札幌市円山動物園よりニジギジ来園

平成11年													平成10年
12 23	11 27	10 4	9 1	8 9	7 14	6 20	5 15	4 9	3 29	28	26	11 19	3 11
●アミメキリン♀「マチコ」死亡	●探鳥ピクニック	●東北サファリパークよりアミメキリン♂「ムサシ」が来園	●上野動物園からマンドリル♀「ニイニイ」が来園	●園児がニホンザルに給餌	●ブドウを収穫し、緑ヶ丘保育園の園児がニホンザルに給餌	●エゾリスのペアをのぼりべつクマ牧場へ搬出	●共部門3位になる	●正門駐車場、南門券売所の新看板が北海道屋外広告物コンクール公共部門3位になる	●モモイロペリカン♀来園	●よるの動物園（5・8）	●アメリカバイソン♀死亡	●第25回動物画写生コンクール	●アメリカバイソン誕生
													●ライオン発情のため収容できず
													●クバトへのえさやり解禁
													●十数年ぶりにニホンザル・クジャ
													●開園（11・3）
													●アザラシ舎南側東屋完成
													●正門駐車場と南門券売所に動物看板を設置
													●釧路市動物園よりニホンザル10頭受贈
													●探鳥ピクニック台風のため中止
													●ホッキョクグマ♂「スバル」急死
													●よるの動物園（5・9）
													●第24回動物画写生コンクール
													●チャップマンシマウマ誕生
													●探鳥ピクニック
													●開園（11・3）
													●屋山動物園より来園
													●アムールトラの「ストロング」名古屋



往年のターボは貫禄も十分



飼育員からのヨーグルトを待つマンドリルのニイニイ



札幌市円山動物園からニジギジが来園



アメリカバイソン誕生
なんとか立ち上がり、
第1関門通過



冬の裏側探検隊で
ヘラジカの角をかじる子ども達



珍しいキタキツネの
黒色個体を保護・飼育



東山動物園より
アムールトラの
ストロング来園



大人の一日飼育係で
麻酔用の吹き矢を体験



カリフォルニアアシカの誕生



駐車場に建設された動物園サインは
北海道屋外広告物コンクール公共部門で
3位に入賞した



平成15年												平成14年																																																											
6 ・ 4	5 ・ 25	6 ・ 26	25	4 ・ 23	25	3 ・ 10	5	2 ・ 13	24	1 ・ 17	12 ・ 18	11 ・ 28	10 ・ 12	2	9 ・ 8	24	20	6	5	8 ・ 2	29	7 ・ 28																																																	
●フタコブラクダ死亡	●アメリカバイソン誕生	●帯広百年記念館と共催で探鳥会	●開園(11・3)	●モモイロペリカン来園	●「モモ」が来園	●オジロワシ死亡	●広尾水族館よりゴマファザラシ♀	●オジロワシ野生復帰研究会と共同で追跡用アンテナ設置	●オオワシ一羽を放鳥	●北海道教育委員会より博物館相当施設の指定をうける	●冬の動物園(26)	●カンガル―ポケット完成	●モモイロペリカン♀死亡	●オホーツク水族館よりオジロワシ一羽来園	●アカコンゴウインコ脱走、翌日捕獲	●ゴマファザラシ♀死亡	●オホーツク水族館よりオジロワシ一羽来園	●モモイロペリカン♀死亡	●チヤップマンシマウマ誕生	●北海道大学へシマスカンクを研究用材料として提供	●アメリカバイソン♀、ピグミーヤギ♀を釧路市動物園へ搬出	●台風21号被害のため臨時休園	●トナカイ死亡	●アカコンゴウインコ脱走、翌日捕獲	●ゴマファザラシ♀死亡	●オホーツク水族館よりオジロワシ一羽来園	●モモイロペリカン♀死亡	●エゾモモンガ今年2回目の出産	●よるの動物園(54)	●チヤップマンシマウマ仔♀が隣のシマウマ♂の放飼場に入り込む	●宮崎市フェニックス自然動物園よりチンパンジーのペアが来園	●釧路市動物園よりアメリカビーバードが来園	●チヤップマンシマウマ誕生	●北海道大学へシマスカンクを研究用材料として提供	●アメリカバイソン♀、ピグミーヤギ♀を釧路市動物園へ搬出	●台風21号被害のため臨時休園	●トナカイ死亡	●アカコンゴウインコ脱走、翌日捕獲	●ゴマファザラシ♀死亡	●オホーツク水族館よりオジロワシ一羽来園	●モモイロペリカン♀死亡	●エゾモモンガ今年2回目の出産	●よるの動物園(54)	●チヤップマンシマウマ仔♀が隣のシマウマ♂の放飼場に入り込む	●宮崎市フェニックス自然動物園よりチンパンジーのペアが来園	●釧路市動物園よりアメリカビーバードが来園	●チヤップマンシマウマ誕生	●北海道大学へシマスカンクを研究用材料として提供	●アメリカバイソン♀、ピグミーヤギ♀を釧路市動物園へ搬出	●台風21号被害のため臨時休園	●トナカイ死亡	●アカコンゴウインコ脱走、翌日捕獲	●ゴマファザラシ♀死亡	●オホーツク水族館よりオジロワシ一羽来園	●モモイロペリカン♀死亡	●アシカ舎プールで野生のトビがおぼれる	●エゾモモンガ今年2回目の出産	●よるの動物園(54)	●チヤップマンシマウマ仔♀が隣のシマウマ♂の放飼場に入り込む	●宮崎市フェニックス自然動物園よりチンパンジーのペアが来園	●釧路市動物園よりアメリカビーバードが来園	●チヤップマンシマウマ誕生	●北海道大学へシマスカンクを研究用材料として提供	●アメリカバイソン♀、ピグミーヤギ♀を釧路市動物園へ搬出	●台風21号被害のため臨時休園	●トナカイ死亡	●アカコンゴウインコ脱走、翌日捕獲	●ゴマファザラシ♀死亡	●オホーツク水族館よりオジロワシ一羽来園	●モモイロペリカン♀死亡	●アシカ舎プールで野生のトビがおぼれる

平成14年												平成13年															
7 ・ 15	30	25	6 ・ 2	17	9	5 ・ 9	27	14	20	18	15	3 ・ 4	1 ・ 25	12 ・ 27	11 ・ 22	29	27	10 ・ 26	21	9 ・ 6	15	10	3	8 ・ 1	7 ・ 21	6 ・ 24	
●アライグマ幼獣を収容、十勝における自然繁殖を確認する ●チャップマンシマウマ誕生 ●アカカンガル―3頭搬出 ●よるの動物園(5) ●ピグミーヤギ誕生 ●アメリカワシミミズク2羽を南紀白浜アドベンチャーワールドへ搬出 ●キリン放飼場にてキリンとシマウマ(母仔)の混合飼育開始 ●探鳥ビクニック ●エゾリス2頭を旭山市旭山動物園へ搬出 ●旭山市旭山動物園よりチンパンジー♂「リキ」、ハヤブサ♀が来園 ●チンパンジー「リキ」一般公開 ●オオワシのペア入れ替え ●トイレ2棟完成 ●チンパンジー♂「リキ」死亡 ●臨時開園(27) ●ピグミーヤギ双子誕生 ●サル山でピグミーヤギ♂を同居 ●フラミンゴ10羽来園 ●動物脱出訓練 ●カリフォルニアアシカ搬出 ●開園(11・4) ●サル山のピグミーヤギが山に登る ●トビ孵化 ●カナダガン孵化、人工育雛開始 ●サンデースポット開始、毎週日曜日にいづれかの動物のガイドを行う ●トビ巣立ち ●第28回動物画写生コンクール ●アメリカバイソンの人工哺育に対し日本動物園水族館協会より繁殖受賞																											



遠く宮崎からやってきた
チンパンジーのコウタ



1日飼育係の後姿も勇ましい



オジロワシに
アンテナを装着して追跡調査



アメリカバイソン移動作業



モモイロペリカン来園



キリンとシマウマの混合飼育
(シマウマの♀は出産間近)



アメリカバイソンの
人工哺育で繁殖受賞



希少種のシマフクロウを保護



サル山でピグミーヤギと
ニホンサルの混合飼育



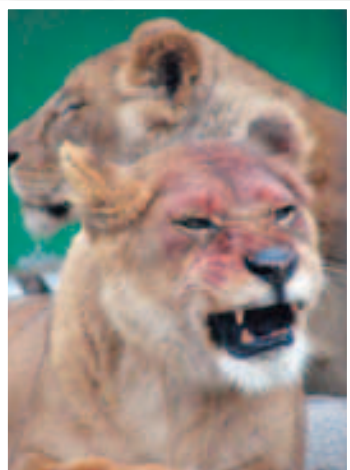
エゾフクロウの
サンデースポット



ピグミーヤギの仔、
こっそりお散歩

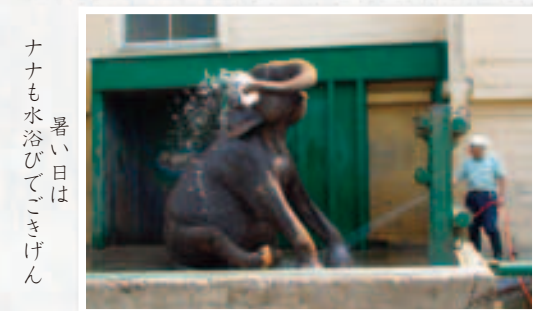
平成16年												平成17年																	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
●開園(ｼ11・3)	●ライオンの♀が♂に攻撃され負傷	●シベリアヘラジカが脱走、即収容	●カリフォルニアアシカ誕生	●第30回動物画写生コンクール	●カリフォルニアアシカの仔公開	『どうぶつ壁画をかこう』	●よるの動物園(ｼ8・1)	●トラの放飼場に植樹	●フラミンゴ3羽が投石により死亡	●アカコンゴウインコ脱走、同日収容	●アカカンガル―を盛岡市動物公園へ搬出	●キツネ、タヌキ、アライグマを犬舎から小獣舎へ移動	●ミニチュアホースのペア来園	●ちびっこふぁーむ完成	●冬の動物園(ｼ30)	●アカカンガル―の人工哺育個体「イツセイ」死亡	●ウサギ、モルモットをちびっこふぁーむへ移動	●大雪のためキリンを屋外に出せず	●ミニチュアホースをちびっこふぁーむへ移動	●カバ♀「モグ」死亡	●開園(ｼ11・3)	●年間パスポート導入	●キリン舎軒を♂「ムサシ」が壊す	●盛岡市動物公園へアメリカワシシミズク2羽を搬出	●カリフォルニアアシカ誕生	●第31回動物画写生コンクール	●観覧車のゴンドラ交換(ｼ8)	●キリンのエサ入れを吊るすワイヤーに♂「ムサシ」の首がからまる	●よるの動物園(ｼ8・1)

平成15年																								平成16年																									
7	6																							1				12	11	10					9					8					3	2	1	0	
2	23																							3				1	10	15	19					30	25	15	13	11					28	16	12	8	6
●カリフォルニアアシカ死産	●チャップマンシマウマ去勢失敗	●フタコブラクダ「ラッタ」死亡	●第29回動物画写生コンクール	●アメリカバイソン♂「マミー」にパイプカット術	●開園40年記念入園無料（～13）	●開園40年記念特別講座（～13）	●アメリカバイソン人工哺育終了	●チャップマンシマウマ去勢失敗	●よるの動物園（～3）	●アメリカバイソン誕生	●5月生まれのアメリカバイソン死亡	●シベリアヘラジカの「ペロ」死亡	●アメリカバイソン新生個体死亡	●こども動物園工事開始	●アメリカバイソン♂「マミー」死亡	●帯広畜産大学へ研究用材料として	●アメリカバイソンを提供	●台風14号による強風のため園内倒木発生	●臨時休園	●平成15年十勝沖地震発生	●ペリカン舎、オシドリ舎放飼場、園路に被害あり	●ペリカン舎、オシドリ舎放飼場改修	●ピグミーヤギ♂2頭こども動物園へ移動	●チンパンジー誕生、同日死亡	●動物脱出避難訓練	●どんぐりのいえ完成	●マンドリル♀「ニイニイ」肺炎のため死亡	●アメリカバイソン♂「リオ」死亡	●ライオン♂「おやじ」死亡	●冬の動物園（～25）	●チャップマンシマウマ♂「ロビン」死亡	●ピグミーヤギ♀の角抜ける																	



平成19年										
11	10	9	8	7	6	5	4	3		
21	5 18	17 15	17 5 27	25 24	9	6 4	28 23	17	13	
- 動物脱出訓練 - カリフォルニアアシカ♀「カイリ」を長野県城山動物園へ搬出	- 園内のブドウ、りんごを収穫、ことぶき保育所の園児によりニホンザルに給餌 - 観覧車救出訓練	敬老の日に高齢のゾウ、カバに特別メニューを給餌	「みんなて描こう動物園」インドゾウ♀「ナナ」右上顎の歯が抜ける	アカコンゴウインコ脱走、収容	第33回動物画写生コンクール	ホッキョクグマ♀「サツキ」を札幌市円山動物園へ搬出	よるの動物園（29）	移動	札幌市円山動物園よりフレミッシュユジャイアントのペアが来園	フタコブラクダ♀が旭川市旭山動物園より来園

平成18年										
11	10	9	8	7	6	5	4	3	1	
25	2 26	27	8	11 6	10 5	9 21	8 31	7 28	6 24	5 9
臨時開園	冬の動物園（28）	札幌市円山動物園よりホッキョクグマの「ヒリカ」来園	エゾシカ4頭鹿追町より来園	クジャクバト、オシドリ、ペリカンの新獣舎建設開始	ミニチュアホースを旧ヘラジカ舎へ移動	中国へ搬出	カリフォルニアアシカ♀「カイト」	ベニイロフラミンゴ5羽来園	ゾウ舎寝室工事（8・4）	園内にAED設置



暑い日は
ナナも水浴びでござけん



個体識別のため
ニホンザルを捕獲



キーボー3歳来園



みんなて描こう動物園
工事中の柵を利用して
描いた壁画



アメリカワシミミズクのヒナ



ペリカン新獣舎へ



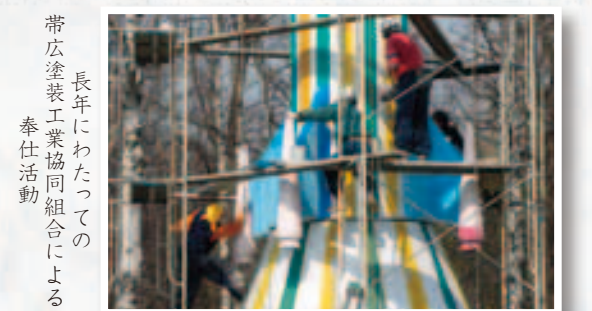
よるの動物園
ZooFliによる紙芝居



来園まもない
ホッキョクグマのピリカ
身軽なピリカは扉をよじ登る



冬の動物園
ゴマフアラザシのブルは
水でなく一面の雪



長年にわたつての
帯広塗装工業協同組合による
奉仕活動



アミメキリンの交尾
残念ながらユキとムサシは
子宝にめぐまれません



園内で栽培しているブドウを
収穫して動物に給餌

平成20年											
21	18	6	12 3	25	24	21	11	23	10 1	30	20
7 8	6 21								9 1	8 1	28
●第34回動物画写生コンクール ●漂着アザラシの会によるアザラシ ガイド(数日実施) ●チンパンジー天井の番線を獲得 ●カリフォルニアアシカの仔公開 ●ウォーターショット運転開始 ●よるの動物園(27) ●「調べてみよう動物のこと」帯広市 図書館と共催 ●アカコンゴウインコ脱走、収容 ●ゴマフアザラシをアシカ舎へ移動 ●アザラシ舎改修工事 ●アメリカビーバー♂「ビービー」脱 走、捕獲 ●チンパンジー♀「ヤワラ」の歯が抜ける ●ファミリー農園収穫 ●敬老の日に高齢のゾウ、カバに特 別メニューを給餌 ●おびひろ動物園協会によるアンケ ート調査(21、23) ●ゴマフアザラシをアザラシ舎へ移動 ●盛岡市動物公園よりオシドリのペ ア来園 ●ときわの森保育所の園児によるフ ァミリー農園の収穫 ●カリフォルニアアシカ♀「ヒロミ」 をインドネシアの「タマンサファリ」 へ搬出 ●マンドリル舎解体開始 ●ホッキョクグマ「ヒリカ」性別判定 ●マンドリル舎解体終了 ●ホッキョクグマ「ヒリカ」のDNA 検査結果が届き、メスと判明 ●冬期開園 ●今シーズンより12月から翌年2月 までの週末に冬期開園を実施 ●エゾリス一頭を釧路市動物園へ搬出 ●オオサンショウウオ身体測定											

平成19年											
12	1	3	16	22	1	8	25	28	2	9	23
15	11	10	9	5	23	15	29	28	4 20	3 5	23
●フタコブラクダ♀「チビ」がカラス に脱肛部をつつかれ負傷 ●オジロワシのペア、オシドリのペ アが釧路市動物園より来園 ●角川映画「旭山動物園物語」撮影 (17) ●臨時開園(24) ●動物園公式ブログ開始 ●冬の動物園(27) ●ゴマフアザラシ死産 ●臨時開園(11) ●「わくわく動物園ツアー」道立帯広 美術館と共催(3・1も開催) ●インドゾウ♀「ナナ」足を薬浴 ●アカカンガル―6頭を盛岡市動物 公園へ搬出 ●ニホンザルエキノコックス検査の ためCT撮影(帯広畜産大学) ●アヒルが脱走、収容 ●開園(11・3) ●滝川どうぶつランドからエゾタヌ キが来園 ●インドゾウによる投石事故発生 ●国内鳥インフルエンザ発生により 傷病鳥の受け入れ中止 ●道内鳥インフルエンザ発生により クジャクバトのえさやり中止 ●チャップマンシマウマ♀「メリー」 死亡 ●ファミリー農園種まき ●新サル舎完成 ●チンパンジーを新サル舎へ移動 ●マンドリルを新サル舎へ移動 ●コモンスザル7頭が札幌市円山 動物園より来園 ●新サル舎オープン											



安全対策のため
エゾシカの角きり



ホッキョクグマの性別判定



強風により
園内の大木が倒れる



「ウォーターショット」新設
運転開始



チンパンジー・マンドリル・
リスザルを飼育する「新サル
舎」がオープン



真冬のアザラシプールの
ヒゲも凍りつく



来園したコモンスザルは
好奇心旺盛



スポットガイドは
入園者と一緒に



フタコブラクダのチビを
治療中



春になるとエゾリスの
幼獣の保護がふえる

[illegible]

平成20年	平成21年
12・26	1・11
・フタコブラクダ♀「チビ」の脱肛部をカラスがつついて負傷	・ゴマファザラシ死産 ・アミメキリン♀「ユキ」歩行困難 ・シロフクロウのペア来園 ・フタコブラクダ♀「チビ」歩行困難 ・「アイヌ語で動物園かんさつ」帯広百年記念館と共催 ・フタコブラクダ♀「チビ」死亡 ・インドゾウ♀「ナナ」が馬栓棒の南京錠を外し食す ・マンドリルの放飼場チップ敷設 ・カバの外プールに今期初めて水を張る ・アカコンゴウインコ脱走、捕獲、その後切羽 ・アメリカワシミミズク仔3羽に足環装着 ・動物園ホームページをリニューアル ・開園（5・11・3） ・ゴマファザラシをアシカ舎へ移動 ・アザラシ舎改修工事 ・アミメキリン♀「ユキ」貧血による衰弱で死亡 ・ゴマファザラシをアザラシ舎へ移動 ・カバの歯磨きイベント ・カリフォルニアアシカ♀「セイカ」出産準備のため室内収容 ・第35回動物画写生コンクール ・カリフォルニアアシカ誕生 ・保護されたキタキツネの仔3頭を小獣舎にて展示開始 ・札幌市円山動物園よりヒツジ、エゾタヌキ、コモンリスザルが来園 ・カリフォルニアアシカ♀「セイカ」死亡、新生個体人工哺育開始
2・4	2・6
16	7
17	18
22	20
15	26
3・3	2
8	7
10	13
19	12
22	11
24	29
5・11	6・2
7・2	30
7・2	7・2



10	1	2	14	17	21	22	24	25	26	31	4	5	7	8	12	15	19	22	26		
●観光文化姉妹都市の徳島市から届いたミカンを来園者へ無料配布(親善交流課)	●ゾウ採血失敗	●「アイヌ語で動物園かんさつ」帯広百年記念館と共催	●植村直己「栄光の軌跡」パネル展を市民ホールで開催(5/25)	●ホッキョクグマ♂の双子「イコロ」・「キコロ」が札幌市円山動物園より来園	●ホッキョクグマ♀「ピリカ」を円山動物園へ搬出	●動物園センター建設工事開始	●双子のホッキョクグマ公開	●新正門完成、引き渡し	●ゾウ採血成功	●ちびっこふぁーむのヤギ、ヒツジにヨーネ病の検査を実施	●ピグミーヤギ♀「ローラ」の検査結果がヨーネ病擬陽性	●ちびっこふぁーむ横の屋外パドックに消毒のための石灰散布	●ニホンザル(隔離個体)エキノコックス検査。同日死亡	●ヨーネ病疑似患畜発生のためヤギ、ヒツジを殺処分	●ちびっこふぁーむ消毒(5/8)	●ヨーネ病疑似患畜発生とその対応について発表	●家畜保健衛生所のちびっこふぁーむ消毒終了の立入検査	●動物園センター完成、引き渡し	●ちびっこふぁーむ屋外パドック土壤交換・石灰散布(5/20)	●園内消毒のため石灰散布	●ピグミーヤギ♀「びっくー」をちびっこふぁーむへ移動



アイヌ語で動物園かんさつ
北海道産動物と
アイヌ文化との係わりを解説



飼育中のヤギに
ヨーネ病疑似患畜発生
園内消毒作業



新正門完成



ホッキョクグマの双子
円山動物園から移動

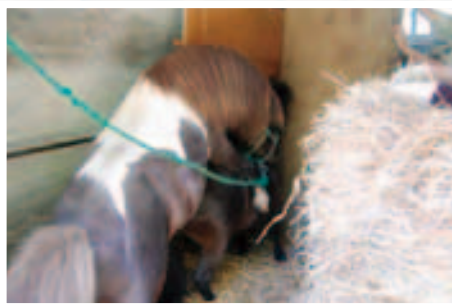


植村直己生誕70年パネル展
冒険家としての軌跡、おびひ
ろ動物園との思い出を紹介



おびひろ動物園協会から寄贈された動物園センター
レクチャールームを備えた総合施設

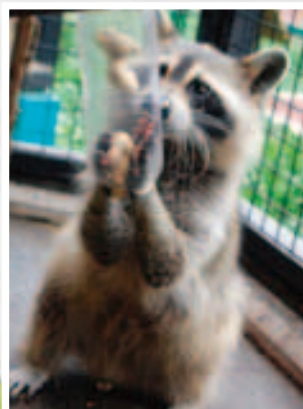
●開園(5・11・3)	●ちびっこふあーむ屋外パドック芝	●アンデスコンドル産卵、孵卵器に入れるが無精卵	●第36回動物画写生コンクール	●ミニチュアホース交配	●海の日イベントでチンパンジー、ニホンザル、ホッキョクグマに氷のプレゼン	●「調べてみよう」動物のこと」帯広市図書館と共催	●おびひろ動物園・帯広畜産大学連携協定締結式	●よるの動物園(5・8・1)	●十勝振興局によるアライグマの採餌実験	●博物館実習として「JGO」を用いたスポーツガイドを行う	●オオサンショウウオ死亡。飼育歴国内最長	●おびひろ動物園とコープさつばろの協働事業がスタート	●企画展イベント「シカ笛をつくろう」	●ZOO体験教室「水鳥たちのウェットランド食堂」	●企画展イベント「角キールホルダーを作ろう」	●コンゴウインコ止まり木設置	●アムールトラの「ストロング」急死	●敬老の日イベントで高齢のゾウ、カバに特別メニューを給餌	●くり抜いた丸太をニホンザル、エゾシカ、チンパンジーの放飼場へ搬入	●植村公子氏来園。氷雪の家を見学	●アメリカン♀「リボン」が盛岡市動物公園より来園
-------------	------------------	-------------------------	-----------------	-------------	--------------------------------------	--------------------------	------------------------	----------------	---------------------	------------------------------	----------------------	----------------------------	--------------------	--------------------------	------------------------	----------------	-------------------	------------------------------	-----------------------------------	------------------	--------------------------



繁殖を目指して
ミニチュアホースの交配



海の日イベントでチンパンジーにエサ入り氷をプレゼント



アライグマの採餌実験



「**UO**」を使用した
スポーツガイド



国内最長飼育歴の
オオサンショウウオが死亡



帯広畜産大学と
連携協定を締結

平成
23
年

4
・
29

・開園(11・3)
・ライオン舎放飼場に侵入したカラ
スを♀「エルザ」が捕食

5
・
10

・エゾモモンガ9年ぶりに誕生
・アメリカバイソンの「たいよう」の
腹部裂傷を縫合処置

6
・
6

・帯広畜産大学がアカカンガールの
Q&A検査のため採毛

7
・
30

・第37回動物画写生コンクール
・園内大木伐採(5・21)

8
・
28

・コモンリスザル誕生
・コモンリスザル人工哺育開始
・ヤクシカ♀「ピーちゃん」死亡
・ミニチュアホース♀「ポコリン」誕
生

9
・
29

・清水町より捕獲されたアライグマ
を搬入、うち一頭を飼育展示する
海の日イベントとしてホッキョク
グマ、チンパンジー、ニホンザル
に氷をプレゼント

10
・
28

・「調べてみよう動物のこと」帯広市
図書館と共催
・よるの動物園(31)
・ヒツジパドックに小屋を設置
・敬老の日イベント 高齢のゾウ、
カバに特別メニューを給餌
・オオサンショウウオの液浸標本作
製(30)

11
・
27

・コンゴウインコ3羽切羽
・エゾシカの事故死

12
・
27

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

13
・
27

・そり遊び広場がステージ前にオー
プン
・ゾウ採血失敗
・植村直己生誕70年パネル展を市民
ギャラリーで開催(2・14)
・ホッキョクグマ繁殖プロジェクト
共同声明発表
・「アイヌ語で動物園かんさつ」帯広
百年記念館との共催
・アイヌ民族博物館より講師を迎え
シカ笛ワークショップ開催
・ホッキョクグマ♀「ピリカ」(おび
ひろ動物園所有)が札幌市円山動
物園から旭川市旭山動物園へ移動
・ホッキョクグマの「キヨク」を浜松
市動物園へ搬入
・東日本大震災 帯広震度4 園内
被害なし
・エゾシカの乾草ロールのロープに
角が絡まる
・ちびっこふあーむ横にヒツジ用パ
ドック設置
・クサガメ冬眠から覚めてカメプー
ルへ移動
・ヤギ2頭を更別村上更別の農家よ
り受贈
・ライオンの「ドラゴン」死亡
・ビグミーヤギの「ぴつくー」をミニ
チュアホース横の獣舎へ移動
・十勝千年の森よりヤギ2頭、ヒツ
ジ2頭が来園

14
・
27

・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

15
・
27

・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

16
・
27

・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

17
・
27

・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

平成
22
年

12
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

13
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

14
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

15
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

16
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

17
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

18
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

19
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

20
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

21
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

22
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

23
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

24
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

25
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

26
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

27
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

28
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

29
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

30
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

31
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

32
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

33
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

34
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

35
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

36
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

37
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

38
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

39
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

40
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

41
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

42
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難

43
・
4

・冬期開園開始
・アムールトラの「タツオ」が札幌市
円山動物園より来園
・アムールトラの「タツオ」公開
・コンゴウインコ3羽がどんぐりの
いえへ避難



麻酔中のホッキョクグマから
足形採取



おびひろ動物園生まれの
ドラゴンが死亡



アムールトラのタツオを
円山動物園から搬入



植村直己生誕70年
パネル展を開催



ちびっこふあーむに
ヤギ4頭が来園



アメリカバイソンの
腹部裂傷治療



敬老の日イベント
カバのタイにオカラケーキを
プレゼント



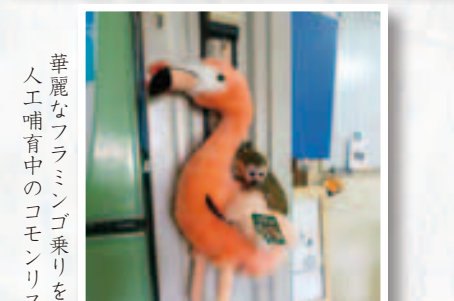
キリン放飼場に
ニセアカシア植栽



多くのファンがいた
ヤクシカのピーちゃん
23歳大往生



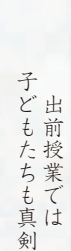
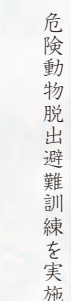
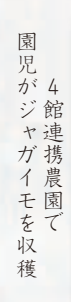
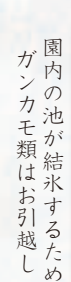
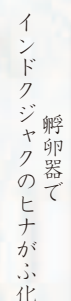
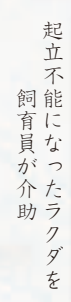
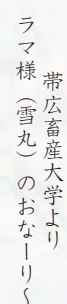
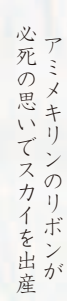
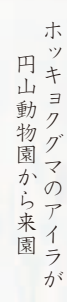
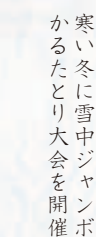
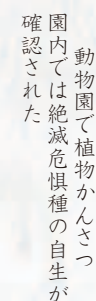
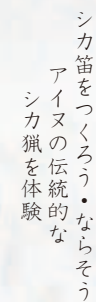
ミニチュアホース誕生
うまがうまれた



華麗なフラミンゴ乗りを見せる
人工哺育中のコモンリスザル

平成24年														平成23年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
7 ●	2	30	23	6 ●	12	29	26	5 ●	13	3	28	26	4 ●	3 ●	18	22	20	2 ●	1 ●	19	8																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

平成24年																	7・13
11・3	17	11	10・6	22	9・17	31	23	19	16	5	8・2	30	27	22	20	16	7・13
●カンカール舎放飼場カーポート設置工事 ●海の日イベントでホッキョクグマ、ニホンザル、チンパンジー、アムールトラに氷をプレゼント ●QOOQ@ストリートビュー園内撮影 ●インドクジャク人工孵化 ●よるの動物園(〜29) ●コモンリスザル誕生 ●「調べてみよう動物のこと」帯広市図書館と共催 ●企画展イベント ●「へんな虫・すごい虫く昆虫のひみつ」講師・帯広畜産大学岩佐教授 ●帯広畜産大学によるエゾシカの警戒音声に関する調査開始 ●企画展イベント「うんこはどこに? そうじ屋さん・虫たちのはたらき」講師・帯広百年記念館伊藤学芸員 ●出前授業「ピーちゃんからのメッセージ」初回は森の里小学校 ●帯広畜産大学によるエゾシカの糞中ホルモン調査のための採材開始 ●敬老の日イベントで高齢のゾウ、カバ、コンドル、ビーバーに特別メニューを給餌 ●エゾシカの繁殖制限のため隔離 ●食べるたいせつフェスティバル参加 ●4館連携農園で緑ヶ丘保育所園児によるイモ掘り ●コモンリスザルの「ソラ」がトキノプラズマ肺炎により死亡 ●危険動物脱出避難訓練 ●いきものジャンボかるたとり ●企画展イベントで無料でホワイトコーヒーを1500杯配布																	



動物園の役割

一、種の保存

絶滅のおそれのある動物を計画的に繁殖することによって、動物種が絶滅しないよう守ることを種(しゅ)の保存といいます。おびひろ動物園は、この「種」を守り、次世代へと伝えるため、さまざまな取り組みを行っています。



キリンファミリー

繁殖

動物を飼育しながら、次世代へと命をつないでいます。そのためにも、動物が繁殖しやすい環境を整える努力をしています。また、将来的な繁殖に向け、研究機関へ動物のフンや生殖器の検体提供なども行っています。



保護されたエンモモンガの人工哺育

傷病鳥獣保護

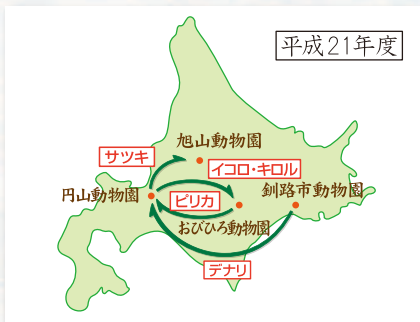
ケガや病気で衰弱している野生動物を保護し、野生復帰できるように治療やリハビリを行っています。中には障害をかかえ、野生に戻ることが困難な動物もあります。そうした動物を飼育展示しながら、野生動物の生息環境の保全などを啓発しています。



国内血統登録 No.57 まるお

血統登録

血統登録とは、国内で飼育している希少動物の戸籍簿で、繁殖を行う上で特に重要です。おびひろ動物園では全国のおジロワシの血統を管理し、繁殖をコーディネートしています。



ホッキョクグマのB.L.移動図

ブリーディングローン

ブリーディングローン(B.L.)とは繁殖を目的とした動物園間の動物の貸し借り制度です。動物園同士が協力し、希少動物の繁殖や近親交配の防止に役立てています。

動物園の役割

二、教育

動物園では生き物のおいや鳴き声を実際に体験することができ、来園者が動物に興味・関心を持ち、動物たちと親しむことを通じて、動物の生態や生息環境についての知識の提供や動物愛護精神の共有を図っています。

解説板

動物の基本情報から豆知識まで、さまざまな解説があります。基本情報を載せた共通解説板は大人用と子供用があります。

スポットガイド

飼育員が動物のことについて、来園者に分かりやすく説明します。野生での動物の生態や自然環境、あるいは個体の特徴についての解説などを行っています。

企画展

動物の生態に関することや、動物にまつわる文化的側面など、多種多様な展示を月替わりで行っています。



企画展のようす



スポットガイドのようす



共通解説板(子供用)

各種イベント

「小学生の1日飼育係」や「夜の裏側探検隊」など、参加者が楽しみながら学べる参加型イベントを実施しています。



「小学生の1日飼育係」のようす

4館連携事業

帯広市の社会教育施設であるおびひろ動物園、帯広百年記念館、帯広市図書館、帯広市児童会館が協力し、それぞれの教育資源を活かしながら、共通のテーマで学習機会を提供しています。



4館連携事業のようす

動物園の役割

三、調査・研究

野生動物の生態は未知の部分が多く、動物園では飼育をしながら行動や生態、繁殖の研究を行っています。また、全国各地の動物園と情報を共有しながら、知識や飼育技術を発展させています。

国立大学法人

帯広畜産大学との連携

動物園と大学の資源を互いに活かしながら、動物に関する調査・研究を行うことで、研究成果を動物園動物あるいは野生動物に還元しています。



飼育していたカバの骨を研究に利用

野生動物の調査・研究

傷病鳥獣としてもちこまれた野生動物の病態や死亡原因の調査を行い、得られた調査結果から、野生動物の診断技術と治療方法の確立を目指し、研究しています。



保護されたハイタカ

動物園間での情報交換

全国の動物園が集う研究発表会に参加することで、さまざまな情報の収集や発信をしています。教育、種の保存など、テーマ別の研究会もあり、動物園機能のレベルアップを図っています。



研究発表のようす

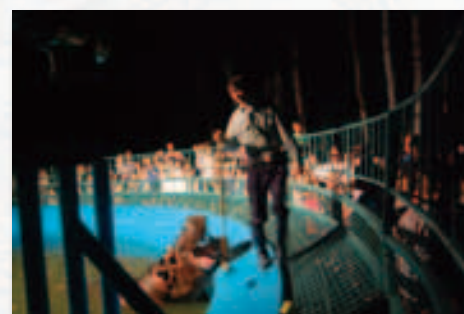
動物園の役割

四、レクリエーション

動物園は、家族や友達と共に、また一人でも、楽しい時間と癒しの空間を提供しています。それらを味わいながら、「命の大切さ」や「生きることの美しさ」を感じ取ってもらえる場所です。

各種イベント

「よるの動物園」や「敬老の日イベント」など、来園者がより動物園を楽しめるイベントを実施しています。



「よるの動物園」のようす

遊園地

十勝管内で唯一、遊園地施設を備えています。観覧車から市内を一望したり、メリーゴーランドや豆汽車に乗って楽しい時間を過ごすことができます。



遊具のひとつ「豆汽車」

広い芝生・東屋

園内にある、広い芝生で走り回ったり、お弁当を食べたり、東屋で疲れを癒し、のんびりとくつろぐことができます。



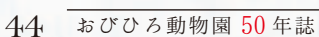
広い芝生で走り回るようす

ホームページ・ブログ

動物園をより身近に楽しんでもらえるよう、イベントの情報や動物たちの近況を発信しています。



おびひろ動物園飼育係ブログ



入園料の推移

	大人	中人(～昭39) 高校生(昭63～)	小人(～平16) 高齢者(平17～)
昭38	30円(24円)	20円(16円)	10円(8円)
昭39	50円(40円)	20円(16円)	10円(8円)
昭40	50円(40円)	—	10円(8円)
昭41	〃	—	〃
昭42	〃	—	〃
昭43	〃	—	〃
昭44	100円(80円)	—	10円(8円)
昭45	〃	—	〃
昭46	〃	—	〃
昭47	〃	—	〃
昭48	〃	—	〃
昭49	〃	—	〃
昭50	〃	—	〃
昭51	250円(200円)	—	10円(8円)
昭52	〃	—	〃
昭53	〃	—	〃
昭54	〃	—	〃
昭55	400円(320円)	—	10円(8円)
昭56	〃	—	〃
昭57	〃	—	〃
昭58	〃	—	〃
昭59	〃	—	〃
昭60	〃	—	〃
昭61	〃	—	〃
昭62	〃	—	〃
昭63	450円(360円)	300円(240円)	50円(40円)
平元	〃	〃	〃
平2	〃	〃	〃
平3	450円(360円)	300円(240円)	100円(80円)
平4	〃	〃	〃
平5	〃	〃	〃
平6	〃	〃	〃
平7	〃	〃	〃
平8	〃	〃	〃
平9	〃	〃	〃
平10	〃	〃	〃
平11	〃	〃	〃
平12	〃	〃	〃
平13	〃	〃	〃
平14	〃	〃	〃
平15	〃	〃	〃
平16	〃	〃	〃
平17	450円(220円) 🔵900円 🟢900円	300円(150円) 🔵600円 🟢600円	220円(220円) 🔵440円 🟢450円
平18	〃	〃	〃
平19	〃	〃	〃
平20	〃	〃	〃
平21	〃	〃	〃
平22	〃	〃	〃
平23	〃	〃	〃
平24	420円(340円) 🔵800円 🟢800円	210円(170円) 🔵400円 🟢400円	210円(170円) 🔵400円 🟢400円
平25	〃	〃	〃

※()内は団体料金
※🔵は通年入園券、🟢は共通利用券



パンフレット(平成3年)



パンフレット(平成15年)



パンフレット(平成25年)



現在の入園券



現在の通年入園券



パンフレット(昭和38年)



パンフレット(昭和39年)



パンフレット(昭和41年)



パンフレット(昭和54年)



入園者の推移



感謝を込めて

おびひろ動物園 園長 高橋 利夫

おびひろ動物園は、おかげさまで50年目を迎えました。昭和38年の開園以来830万人以上の来園者にお越しいただきました。これも多くの皆さまの動物園を心から愛する気持ちと、温かく育てていただいた賜物だと思います。

また、多くのボランティアの方々による園内外の清掃、施設の塗装、園路補修、さらに多くの方からの様々な寄附など、有形無形のご支援をいただいておりますことに、あらためて感謝の意を込めてお礼申し上げます。

おびひろ動物園が位置する緑ヶ丘公園には北海道立帯広美術館、帯広百年記念館、帯広市児童会館、グリーンパークや野草園などの教育施設が充実し、緑豊かな環境と、市街地に接するなど立地条件に恵まれています。その中で、おびひろ動物園は市内をはじめ、十勝管内や道内外からも多くの皆さまに家族との憩いの場、レクリエーションの場、または子供たちの情操教育の場として幅広くご利用いただいています。

動物園は「教育」「種の保存」「調査研究」「レクリエーション」の4つの役割を担っています。動物を生き物として見ること、動物と接することで「命の大切さ」「自然環境の保護」などをテーマとして、来園者に心の安らぎや豊かさ、環境の大切さを感じ取ってもらうような動物園づくりをすすめています。

このような動物園の取り組みを通じ、さらには市民の皆さまから預っている動物たちを、大切に飼育することで、楽しく、親しみやすい、愛される動物園をめざしています。そして、この50年という節目の年を、さらに大きく飛躍する基盤づくりの年と位置づけてまいります。

最後になりますが、これまで動物園の管理運営に携わってこられた職員・スタッフを含め、動物園を守り育ててきた皆さまにお礼申し上げます。

さらに、これまでに動物園をご利用いただいた多くの皆さまには、これまでに以上に動物園の応援団として、さらなるご支援、ご協力を賜りますよう、あらためてお願い申し上げます。

◆編集後記◆

50周年記念誌作成にあたり、私達は半世紀の歴史を改めて振り返ることができました。

動物園がここまで運営できたのは、地元の皆様のご支援とご協力、先輩職員のご尽力のおかげであることを再認識したところです。

掲載画像を選んでいる時にも、生き生きとした動物たちの姿を見ることができ、白黒写真の向こう側には、どんな夢や不安が広がっていたのかを想像しながら編集しました。

10年後、20年後に「あんな時代もあったな」と懐かしく思い出すことができるように、おびひろ動物園がある喜びを次の時代に繋げていかなければならないと感じています。

今回、私たちが50周年という記念の年に携れたことは、いつまでもいい思い出として残っていきます。

おびひろ動物園 50年誌 編集委員

おびひろ動物園
50年誌

発行 平成二十五年七月三十一日

編集・発行 帯広市（生涯学習部動物園）

協力 十勝毎日新聞社

北海道新聞社

題字 帯広南商業高等学校

教諭 岡 弘洋

表紙写真 第37・38回 おびひろ動物園

動物画写生コンクール 入賞作品

印刷 東洋印刷株式会社

